

# 12月11日から12月15日セブ旅行記

NO1

12月11日、フィリピン航空479便にてセントレアを定刻に出発、途中気流が悪く揺れましたが、PM21:50に無事に到着しました。本日の宿泊はウォーターフロントマクタンです。旧ターミナル前で新ターミナルから徒歩で500Mです。歩いて10分程度。



翌日はAM6:00からの朝食で、ホテルをAM6:50スタート。いざ、セブ島 南部の街、オスロブへ。135KM 3時間30分から4時間!



セブシティからナガ、タリサイ、カルカルへ 途中でトイレ休憩するも、追い越しばかりのスペクタルな運転 (いつものこと) 日本人が運転していたとしたら、1時間は遅いでしょう。AM10:30にはオスロブ ジンベイ鮫スポット到着 残念ながらすでに終了 (AM9:30からAM10:00で終了)



静かな海です。遠くに見える島がスミロン島です。

仕方なので近くのスポット 『ツマログ滝 (Tumalog Falls) 』別名「神秘の滝」へ



この滝へはオートバイ移動片道50ペソ。結構、急な坂でした。入場料は不要で、案内人が写真を撮ってくれました。時間調整もあり、スミロン島桟橋へ。定期船は12:30でまだ、1時間ありますが、移動。20分でスミロン島へ





栈橋から



スミロン島が近く見えます

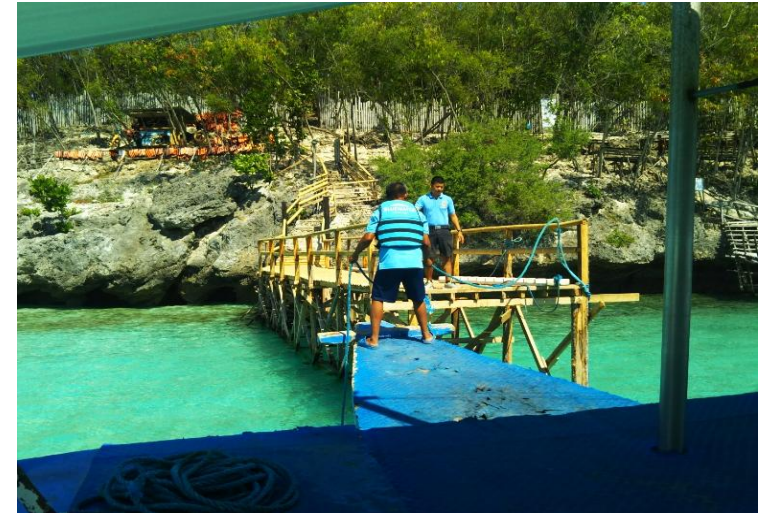
スミロンブルーウォーターホテルで、マクタンにあるマリバコブルーウォーターホテルの姉妹ホテルです。



メインDOCKからの景色



サンドビーチ



いよいよスミロン島へ上陸

この島自体が海洋公園になっていて、DAY TOURで上陸するゲストも多いです。

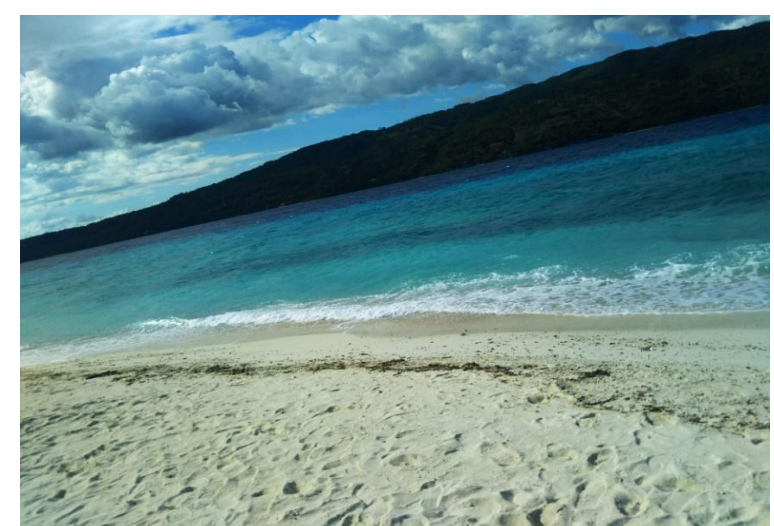
また、この時間はスタッフが25名程度乗船していて、宿泊客は4名のみの乗船でした。



これにてチェックイン



有名なサンドバー



昼寝できます



デラックプレミアールーム



スローライフを

この島はルールが厳しいようですので、少々面倒ではありました。アクティビティプログラムもバイク、カヤック、シュノーケルなど、宿泊代に含まれているので事前にリサーチして来ることお勧めいたします。カップル、家族にはお勧めですが、2日もあるとやることのないのも否めません。今回は1泊のみですので、全てを体感することはできませんでしたが、ここに来るときは1泊2食付きが必要（1泊3食もあり）です。レストランは1ヶ所です。食事の評価としては1ヶ所で量が少ない



です。朝も同じところ。また、アルコール、その他の飲料の持ち込みは部屋の中であればOKですが、その他の場所はNGです。飲料代も高額ですので、ここは気をつけるべきです。また、朝の定期船 NO3 がAM9:00です。ここで気をつけたいのはジンベイ鯨ツアーです。9:00に出発して、遅れたりするとツアー自体が終了しているという危険があります。このツアーについては後で。



海の色もとても鮮やかな日本にはない景観です。翌日は7:20にメインDOCKから出船のつもり。が、結局は7:50出船でした。ジンベイ鯨ツアーに行くゲストもやはり、乗船していました。定期船以外のため、2名で2500ペソ支払いです。ぼったくりです。聞いてはいないので、憶測ですがこの時間に乗船するゲストからそれぞれ、徴収していると思います。まさしく、これがフィリピンスタイルですね。スタッフの数もとても多いです。我々が乗船する際にフィリピン人大団体が船で着岸していました。聞いたところマニラからのフィリピン人だそうです。でもここにこの時間にいるということはほとんど寝ていない??気がします。  
Good Bye SUMILON Island

さて、いよいよジンベイ鯨ツアーです。船着場から300Mで到着。入口で25ペソの入場料を払い、海岸へ移動。ここでブリーフィング(説明)を受けるのですが、昨日とは違う景色がありました。何と人がめっちゃくちゃいます。。



みんなどこから来たのか?

セブからの日帰りツアーは朝の5:00出発です5M以内には近づくな??

参加者はほとんどが、スノーケルと泳ぎを選択します。やはり、ここでも外人とフィリピン人料金の設定がありました。泳いで見るだけの方もいます。(ただし、波があるのでおもっつきり揺れます)

ボートは手漕ぎ2人組です。これは体力が必要なお仕事です。我々は外人2名と日本人2名×2組でつきり、沖に行くかとおもったら手漕ぎで5分程度。ジンベイ鯨遭遇ポイント到着!



いきなり来ました

ボートの上から

とても大きいです。





水中カメラにて



正直、最初は怖かった  
ですが、次から次へと  
ジンベイ鯨が寄ってくる  
この体験は世界でも珍しい  
ツアーです。どうも足が  
何度か触った気がします。

このジンベイ鯨ツアーですが、餌付けはしていますが、網はないフリーということで、台風のあとは3日ほど寄らないそうです。また、このオスロブのこの地でないと鯨が集まらないそうで、移動もできないスポットとのこと。このツアーがいつまでも続くのかは疑問ですが、一度は体感する価値は大いにあったと感じました。セブ市内から135K、4時間弱が厳しい条件ではあります。

1泊コースでくることをお勧め致します。

宿泊先はスミロン島もよいですが、セブ南部の町でもよいかと思います。

次なる目的地がカワサン滝ですので、その近くに泊まりアイランドホッピングを兼ねたの旅程もお勧めです。カワサン滝はセブ西部でネグロス島も見えるところです。

文字通り一番南の町SANTANDERを周遊し、いざ、カワサン滝へ約1時間  
セブ島西部（ネグロス島が間近に見えます）は交通量も少ないです。

カワサン滝に到着、駐車場から1.3KM 徒歩で約20分



マイナスイオン全開  
途中から少し、足場は  
悪くなりますが、全く  
問題はありません。  
ここで、泳ぐのも今回の  
目的のひとつでした



途中でアドベンチャーツアーという看板を見ました。比較的若い方が参加する3時間のツアーがあります。ここは滝がいくつもあり、滝の上から滝壺に飛び込んで、山の奥から走破していくツアーとのこと。当然、足場も悪く、読んで字のごとく『アドベンチャーツアー』とのこと。





歩く事20分弱、滝壺に到着、水の色も綺麗な色合いで多くの方が泳いでいました。滝壺の近くは落石があるとのことで、ロープが張られていましたが、安全対策もしていました。水の冷たさはとても冷たくて、気持ちのよいマイナスイオン満開でした。



このカワサン滝はジンベイ鮫ツアーのオスロブと反対側の位置になるので、日帰りツアーもなかなかタイトです。パディアン地区に宿泊して、アイランドホッピングとカワサン滝で1日、翌日7:30に出発して、ジンベイ鮫ツアーを体験して、セブ市内に戻る旅程が良いかと思います。1日目セブ市内からカワサン滝へも3時間以上時間を要するので、出来るだけ早めにセブ市内を出発することがよいかと思います。カワサン滝の所要時間は昼食を含めて2時間程度は必要です。アイランドホッピングが4時間としても、やはり遅くともAM8:00には出ないと厳しくなるでしょう。フィリピンの運転手さんとはとにかく飛ばしますので、車が苦手の方は出発前に酔い止めを。。  
カワサン滝 12:50出発 途中の峠が工事中渋滞もあり、セブ市内のホテルまで約4時間



ロビー中央のクリスマスツリー

クリスマスモード全開です  
この日もクリスマスパーティがこのホテルでいくつか開催されていてロビーにはフィリピン人のグループがたくさんいました。毎日クリスマスパーティがあり、12月はお祭りです。



2Fへの階段（装飾がクリスマスです）



夕食はセブの日本食レストラン 鎌倉です。

NO6

E.C.Building, Greenhills Road,Casuntingan, Mandaue c i t y

TEL032-417-2481 定休日 月曜日

夜 5:30 - 9:30 (L.O.)



ここは知る人ぞ知る日本食レストランです。本当の日本食ですので、まさか、フィリピンでこのような食事が食べれるとは思わないと思います。

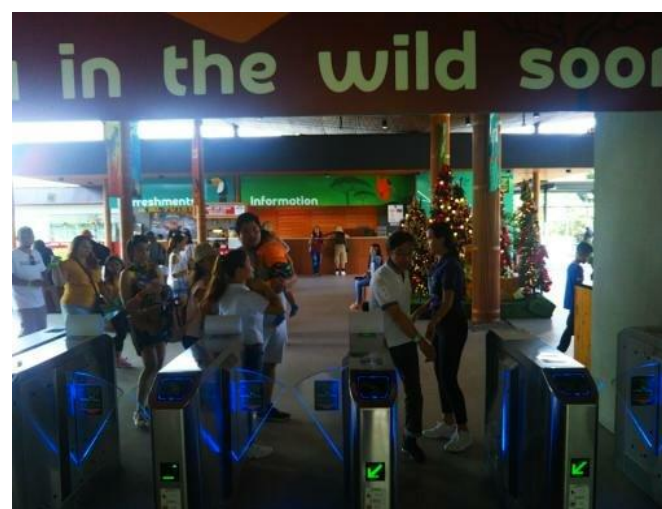


看板がこんな感じなのでとてもわからないと思います。右の写真は入口にあります。日本人ならすぐ、わかり日本食を堪能させて頂き、この日はタイトであるので、即就寝しました。

翌日もタイトなるスケジュールにて セブ北部 セブサファリーコースです。



チケット売り場



入場口



入口エントランス

セブ市内からサファリまで48KM 所在地はダナオシティになります。車で2時間程度 土曜日なので少し、渋滞は到着して驚いたのは既に駐車場にバスが5台、乗用車の駐車場もほぼ、満車になっていました。

入場料は800ペソです。日本の動物園として考えると高いですが、サファリパークとすれば安いのかもです。

完成してすでに3年ぐらい経過しているようですが、フィリピン人は少し安いようです。お供のフィリピン人が全て以上でしたので、シルバー割引を適用して入場しました。



友人のMR セルソーと



入口看板



アフリカタイガー

入口からまず、メインであるライオンエリアへトラムにて移動。当初は行きはトラムで帰りは徒歩とのことでしたかあまりの坂と距離で断念 レストランもいくつかあり、ファミリーには1日楽しめるどころかと思えます。

また、園内にはジップラインのアクティビティも完成されているようです。



← 園内を走るトラム

13:45 バードショー ⇒





ここでの滞在はトラムの移動もあるので、時間はかかります。また、トラムが来るまでの待ち時間もあるので、歩けるエリアは歩いて移動したほうが時間短縮になります。 NO7

曜日によるかと思いますが、バイキングレストランは満席でしたので、イタリアンレストランにて昼食を。時間も12:00前でしたので、すいていました。我々が食べ終えるころにはそのレストランも混んできました。今回、時間の関係でバードショーを見る事が出来ませんでした。ここのお勧めとのことでした。

13:00頃にサファリを出発、アクティビティ関連施設のDANASANというところをめざして出発  
アクティビティ関連施設のDANASANについては結果論としては失敗でした。

1日遊べる Danasan Eco Adventure Parkとありましたが、サファリからグーグルマップで30分でした。

結果的には一度ダナオシティにおりて、そこから山道（愛知県東栄町のあたりの険しい道なき道でした）を27KM  
この27KMの遠く感じたのは自分だけでしょうか。ダナオから1時間20分はかかりました。

あいかわらず、運転が粗暴であるので、体力勝負です。フィリピンの現地の生活感は車中からは感じれました。



料金表 ⇒

←  
DANASA ECO  
Adventure Park

DANASAN ECO ADVENTURE PARK			
<b>ENTRANCE</b>	Php 30.00	<b>ACCOMMODATION</b>	<b>DATE</b>
<b>ACTIVITIES</b>	<b>DATE</b>	<b>AIR-CONDITIONED</b>	<b>Barukada Package I</b>
DAY USE	Php 300.00	COBA 1 x 4 for 2 days with Breakfast	Php 4,500.00
SPIDERMAN	300.00	COBA 2 x 5 for 2 days with Breakfast	3,000.00
ZIPLINE & BUNGEE JUMPING	300.00	KANADON 1 x 4 for 2 days with Breakfast	3,000.00
AMBUSSAGE HUNTING	300.00	KANADON 2 x 4 for 2 days with Breakfast	2,500.00
RAVINE CROSSING	300.00	KANADON 3 x 4 for 2 days with Breakfast	2,500.00
ATV RIDE	300.00	TRAIL 1 - 3 for 2 days with Breakfast	1,500.00
WATER BALLOON	300.00	TRAIL 1 - 3 for 2 days with Breakfast	6,000.00
WATER BALLOON	300.00	<b>NON-AIR-CONDITIONED</b>	
WATER BALLOON	300.00	ACASA 1 for 10 days	2,000.00
WATER BALLOON	300.00	ACASA 2 for 10 days	3,000.00
WATER BALLOON	300.00	ACASA 3 for 10 days	6,500.00
WATER BALLOON	300.00	WPC COTTAGE for 10 days	900.00
WATER BALLOON	300.00	Swampy Hill with Sunset Dinner for 10 Days (1000.00)	5,000.00
WATER BALLOON	300.00	Swampy Hill with Sunset Dinner for 20 Days (2000.00)	2,500.00
WATER BALLOON	300.00	<b>TENT</b>	
WATER BALLOON	300.00	1000 sqm tent for 10 days	250.00
WATER BALLOON	300.00	2000 sqm tent for 10 days	600.00
WATER BALLOON	300.00	3000 sqm tent for 10 days	100.00
WATER BALLOON	300.00	<b>TRANSPORTATION</b>	
WATER BALLOON	300.00	COBA - DANASAN (ROUND TRIP) - ARRIVAL OF 10 P.M.	Php 400.00 (Round)
WATER BALLOON	300.00	DANAS - DANASAN (ROUND TRIP)	250.00 (Round)
WATER BALLOON	300.00	<b>SCHEDULE</b>	
WATER BALLOON	300.00	Package 1 - Danasan 8:00am	
WATER BALLOON	300.00	Package 2 - Danasan 8:00am	
WATER BALLOON	300.00	Transportation will depart from Danasan at around 5-6pm	
WATER BALLOON	300.00	<b>For Booking and Reservation Call:</b>	
WATER BALLOON	300.00	0917-501-5017	
WATER BALLOON	300.00	0917-501-5017	
WATER BALLOON	300.00	0917-501-5017	
WATER BALLOON	300.00	0917-501-5017	

1日時間をかけてくるならいいかもしれませんが、ちょっと見学でくるところではなかったです。各種アクティビのプログラムがありました。せっかくなので、すすめられたATVというものをやることにしました。しかしながら、これも失敗でした。理由は靴と服が泥まみれになりました。防御装備しましたが、雨のあとでした散々でした。約30分が長く感じました。コースの道はあえてガタガタに作られてるので、衝撃が結構あり、腕が張りました。



スタート前で余裕  
↓  
途中で嫌になった  
↓  
インストラクターは見てるだけ  
↓  
泥だらけになり後悔  
→ 帰りの山道を後悔

本来はいくつかを体験する予定でしたが、帰りの時間、山道を考え 早々と退散です。帰りは下りなので1時間ぐらいでダナオシティの国道にでました。でもそこから渋滞です。次なる観光地は今年できたセブ オシャンパークです。セブ南部にあるSMシーサイド横にあります。特徴としてはフィリピン国内最大級の水族館で海の生き物だけでなく、鳥類や昆虫類、爬虫類を含む約200種類の生き物を見ることができます。入場料は平日 600ペソ(約1300円) 土日祝 800ペソ(約1600円) 身長2フィート(約60センチ)未満の方は無料。





19/9/24 オープン  
営業時間は  
平日が10:00~18:00  
土日が9:00~18:00



全体マップ



海のトンネル



オーシャンパーク行って、SMシーサイドで買い物ってのが理想的な流れかと思います。

「BIGアクアリウムという水槽が非常に大きく魚がみえるポイントです。

このあと、土産コーナーで出口です。思いのほか、ちゃんとした水族館ですが、日本の方は珍しくはないで  
夕食はセブコンベンションセンター内、TSAY CHENG中華です。



まだ、清潔感のあるレストランですが、フィリピン風中華（広東料理）ですので、少し甘めです。  
この日もタイトなスケジュールでしたので、早めに就寝。





最終日、ホテル前にて



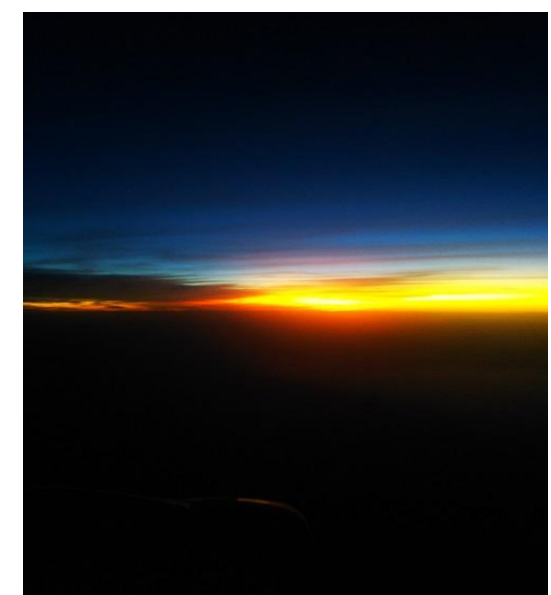
セブ・、マクタン空港にて



新ターミナルは新しく、明るい  
以前のような渋滞も出国審査場  
はあるものの、流れますので、  
時間的には短縮されています。

DEPARTURES						11:04
Flight No	To/Via	STD	ETD	Gate No	Status	
BR 282	Taipei	11:10		15	Gate Closed	
Z2 7134	Kaohsiung	11:25		16	n Final Call	
PR 480	Nagoya	12:00		14B	n Final Call	
CX 922	Hong Kong	12:20		22A	n Final Call	
LJ 22	I/Incheon	13:30		21	Check-In Open	
MI 559	Singapore	14:25		20		
PR 436	Tokyo/Narita	15:00		22A		
5J 128	I/Incheon	15:30		15		
Z2 9048	I/Incheon	16:05		14B		
MF 8688	Jinjiang	16:15		21		

GATE CLOSING 15 OR 20 MINUTES BEFORE



中部国際空港には定刻より少し、早く到着 PM17:10でした。  
荷物は優先シートを選択したのですが、相変わらず出てくるのは遅かったです。  
今回の5日間においては今までのセブ旅行にない新しい発見ができた旅でした。  
是非、ジンベイ鮫ツアーにおいてはいつまで、このツアーが出来るのかは不透明です。  
皆様には一度、体感して頂きたいと思います。  
まだまだ、色々なスポットを探して旅行記として発信していきたいと思います。  
最後までご購読ありがとうございました。

次なる目的地は何処でしょう？旅行記のつづきをお楽しみに。。！